

- ◆ 位置情報サービスプロバイダ、位置情報コンテンツメーカーを利用者に想定した規格
- ◆ 位置情報が生成、記述、交換、利用される4フェーズで普遍性と汎用性に考慮した規格
- ◆ ITS 情報通信システム推進会議の POIX_ARIB、(旧)JSK の POIX_MP を統合し、POIX_EX としての統一規格
- ◆ GPS の誤差への対策として経度緯度表現で不完全な位置を地物で表現可能

1. 交換規格化指針: どのような位置情報サービスにも適用可能な基盤情報を策定する。
2. 記述形式: 概念レベルで位置情報項目を規定。記述形式は規定しない。ガイドラインでは、例として XML で表現。
3. 交換方式: 交換手段は規定しない。インターネット、移動網などサービス体系の中でサービスプロバイダが独自に規定可能。
4. 他の標準化団体との連携: モバイルオフィス推進協議会、モバイル標準化検討委員会の既存規格と連携。更に、(旧)JSK と合同で統一ガイドラインを開発。

当ガイドラインの電子ファイルは、以下の URL から入手できます。
<http://www.itsforum.gr.jp/Public/J7Database/p22/P22.html>

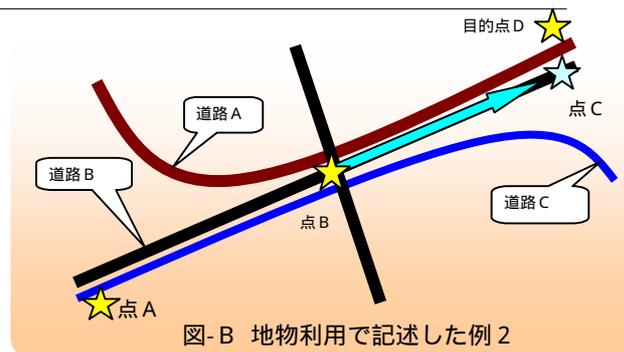
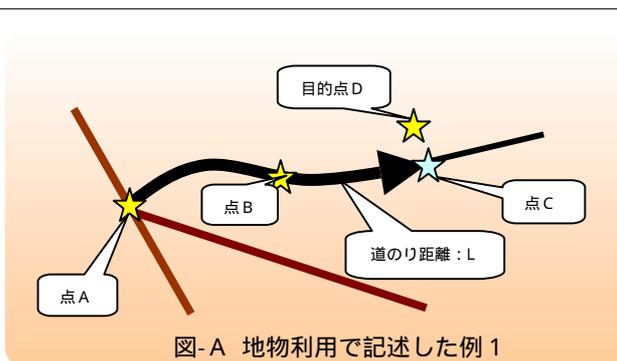


図 A と図 B の概要説明

図 A、B は本ガイドラインの特徴のひとつである「経度緯度表現では不完全な位置を地物利用で表現する」状況を示したものである。

GPS が提供する緯度経度は誤差を含み、また地図自身も誤差を含んでいる。このため、GPS から取得した位置をある地図で見ると、道の右側になり、別の地図で見ると道の左側になることがあり得る。本ガイドラインの表記を用いれば、緯度経度情報に地物との相対位置を加えることができる。これによって、より正確な位置を表現できる。

上図で表現したい目的点は点 D である。以下で示す目的点、参照点は別途緯度経度情報で与えられる。

図 A の詳細説明

1. 点 D の近傍を通る道路の起点を参照点 A とする
2. 点 A から進むべき方向を示す点 B を第二の参照点とする
3. 点 D の近傍を通る道路上の点 C を、点 A からの道程 L で示す。点 C は仮想点(他の点と異なる色で示す)で、表記上は L で表されるだけである
4. 点 C の左側、あるいは右側で点 D を表す

図 B の詳細説明

1. 点 D の近傍を通る道路の起点を参照点 B とする
2. 点 B には道路 A、B、C があり、誤差のため、これらを点 B では弁別できないので、点 A、C を参照点として設ける
3. 参照点 A、C により、道路 B が確定する。
4. これ以後は、図中には書かれていないが、図 A の 3、4 と同様な手続きで点 D を記述することができる

構造表

行番	第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層	第6階層	第7階層	備考					
1	poix_ex	poix+	format	datum									
2				unit									
3				type?									
4				author*									
5				time?									
6				poi	point	pos	lat						
7			lon										
8			herror?										
9			alt?										
10			verror?										
11			name?										
12			time?										
13			speed?										
14			dir?										
15			db_use?							db_name			
16										db_index			
17									geo_shape?	geo_type			
18										prerference?	pos+		
19										reference	reference_type		
20											pos		
21								postreference?		pos+			
22								distance					
23								side?					
24							mp_area?	bl					複数pointの 情報範囲指定
25								tr					
26							line?	point					
27								point					
28							area?	circle?	point				
29									radius				
30								polygon?	point				
31									point				
32									point+				
33							move?	method?					
34								speed?					
35								dir?					
36								locus?	pos*				
37							name*	nb					
38								rt?					
39							access*	method					
40									lpoint	iclass			
41										pos			
42										name?			
43									Tpoint	iclass			
44										pos			
45										name?			
46									route?	poi	pos*		
47									note?				
48								contact*					
49							note*						
50							category*					カテゴリ指定	
51					mate*								
52					icon?	icvender				アイコン情報			
53							icsrc						
54					action*	exe_condition?							
55							kill_condition?						
56							execute+	built_in_function script applet objfile					
57					map_re q*	mfm							
58							scl						
59							msz						
60							filename						